

2018年6月11~12日

NHK世論調査、米軍機墜落、政局、米朝会談、G7、新潟知事選

安倍内閣「支持」38%「支持しない」44% NHK世論調査

NHK6月11日 19時00分



NHKの世論調査によりますと、安倍内閣を「支持する」と答えた人は、先月と同じ38%で、「支持しない」と答えた人も、先月と同じ44%でした。

NHKは今年8日から3日間、全国の18歳以上の男女を対象に、コンピューターで無作為に発生させた固定電話と携帯電話の番号に電話をかける「RDD」という方法で世論調査を行いました。

調査の対象となったのは2159人で、56%に当たる1218人から回答を得ました。

それによりますと、安倍内閣を「支持する」と答えた人は先月と同じ38%で、「支持しない」と答えた人も先月と同じ44%でした。「支持しない」が「支持する」を上回ったのは3か月連続となります。

支持する理由では「ほかの内閣より良さそうだから」が45%、「実行力があるから」が20%、「支持する政党の内閣だから」が13%でした。

逆に、支持しない理由では「人柄が信頼できないから」が54%、「政策に期待が持てないから」が20%、「実行力がないから」が9%でした。

米朝首脳会談について

12日に行われる米朝首脳会談で、北朝鮮の完全な非核化に合意できると思うか聞いたところ、「合意できる」が9%、「合意できない」が43%、「どちらともいえない」が37%でした。

会談を通じて拉致問題の前進につながると思うか聞いたところ、「つながる」が18%、「つながらない」が43%、「どちらともいえない」が29%でした。

安倍総理大臣は拉致問題の解決に向けて、日朝首脳会談の開催に意欲を示しました。これを評価するか聞いたところ、「大いに評価する」が14%、「ある程度評価する」が52%、「あまり評価しない」が19%、「まったく評価しない」が9%でした。

決裁文書の改ざんについて

森友学園をめぐる決裁文書の改ざんを受けて、麻生副総理兼財務大臣は閣僚給与1年分を自主的に返納することを明らかにし、引き続き財務大臣の職責を果たしていく考えを示しています。

これに納得できるか聞いたところ「大いに納得できる」が4%、「ある程度納得できる」が23%、「あまり納得できない」が28%、「まったく納得できない」が36%でした。森友学園をめぐる一連の問題で、大阪地検特捜部は財務省の佐川前理財局長らの刑事責任を問うのは難しいとして不起訴にしました。

この判断に納得できるか聞いたところ、「大いに納得できる」が4%、「ある程度納得できる」が20%、「あまり納得できない」が32%、「まったく納得できない」が34%でした。決裁文書改ざんの調査結果の公表を受け、野党側は佐川氏の証人喚問を改めて行うよう求めています。与党側は慎重な考えを示しています。佐川氏の証人喚問について聞いたところ、「必要だ」が43%、「必要ではない」が21%、「どちらともいえない」が26%でした。

獣医学部新設について

加計学園の獣医学部新設をめぐって、学園側は愛媛県の文書に書かれていた安倍総理大臣と加計理事長との面会は、実際になかったものを持ち出したとして、愛媛県などに謝罪しました。

学園側の説明に納得できるか聞いたところ、「大いに納得できる」が2%、「ある程度納得できる」が13%、「あまり納得できない」が34%、「まったく納得できない」が39%でした。

各党の支持率 NHK世論調査

2018年6月11日 19時33分



各党の支持率は自民党が35.8%、立憲民主党が8.9%、国民民主党が1.1%、公明党が2.4%、共産党が4.1%、日本維新の会が0.7%、社民党が1.2%、「特に支持している政党はない」が38.2%でした。

IR法案「賛成」16%「反対」38% NHK世論調査

NHK2018年6月12日 4時46分

カジノを含むIR＝統合型リゾート施設の整備に向けた法案について、NHKの世論調査で聞いたところ「賛成」が16%、「反対」が38%でした。



NHKは今年8日から3日間、全国の18歳以上の男女を対象に、コンピューターで無作為に発生させた固定電話と携帯電話の番号に電話をかける「RDD」という方法で世論調査を行いました。

調査の対象となったのは2159人で、56%に当たる1218人から回答を得ました。

働き方改革をめぐって、時間外労働に上限規制を設ける一方、高い収入の一部専門職を労働時間の規制から外すことなどを盛り込んだ法案が参議院で審議されています。

与党側は多様な働き方を実現させるものだとしていますが、野党側は長時間労働が助長されるなどと反対しています。法案について聞いたところ、「賛成」が14%、「反対」が32%、「どちらともいえない」が44%でした。

カジノを含むIR＝統合型リゾート施設の整備法案について、政府・与党は今の国会で成立させる方針ですが、野党側は拙速な採決は認められないとしています。

法案について聞いたところ、「賛成」が16%、「反対」が38%、「どちらともいえない」が36%でした。

自民党は参議院選挙の1票の格差を是正するため、定数を6増やし、比例代表の一部について、あらかじめ候補者の順位を決めておく「特定枠」を設けるなどとした法律の改正案を国会に提出する方針です。

この案について聞いたところ、「賛成」が9%、「反対」が34%、「どちらともいえない」が43%でした。

翁長知事「子や孫に責任持てない」 米軍戦闘機墜落 朝日新聞デジタル2018年6月11日11時55分



墜落した機

体と同じF15戦闘機＝2017年4月、米軍嘉手納基地、日吉健吾撮影

11日午前6時半ごろ、那覇市の南約120キロの海上で、米軍嘉手納基地（沖縄県嘉手納町など）所属のF15戦闘機が墜落した。搭乗していたパイロット1人は緊急脱出し、航空自衛隊のヘリに救助された。足を骨折しているが、命に別条はないという。事故を受け、沖縄県は同型機

の飛行停止を求めた。

防衛省や嘉手納基地によると、F15は他の6機とともに訓練中だった。空自那覇救難隊のヘリコプターがパイロットを救助し、本島中部の米軍の病院に運んだ。

小野寺五典防衛相は報道陣に「飛行の安全をしっかりと求めていきたい。日本も使っている飛行機であり、原因について詳細な報告を受けたい」と話した。沖縄防衛局は、米軍に情報提供と安全管理の徹底、再発防止を申し入れた。

県には午前8時15分ごろ、米軍から一報が入った。登庁した翁長雄志（おながたけし）知事は報道陣に「昨年1年間、（米軍機のトラブルは）いろいろなことがあった。一つも解決しないまま、またこういう形で墜落があっても、みんなまひしてしまって『沖縄はそういう状況なんだ』ということでは、子や孫に責任が持てない。日本政府には当事者能力がない」と批判した。

米軍のF15は2013年5月と06年1月、02年8月にも、沖縄周辺の海域で墜落している。

F15戦闘機の飛行訓練中止＝墜落事故で米軍－沖縄

米軍嘉手納基地（沖縄県嘉手納町など）所属のF15戦闘機が海上に墜落した事故で、同基地は11日、安全対策を再確認するまで同型機の飛行訓練を中止すると発表した。沖縄県が中止を求めている。（時事通信2018/06/11-20:16）

沖縄本島沖、米軍F15墜落＝1人救助、嘉手納所属



墜落した米空軍F15戦闘機の同型機＝2017年5月、沖縄県の米軍嘉手納基地

11日午前6時25分ごろ、沖縄本島沖の海上で、米軍嘉手納基地（沖縄県嘉手納町など）所属のF15戦闘機が墜落した。防衛省によると、パイロットは緊急脱出し、那覇市の南南東約120キロの海上で自衛隊が救助した。命に別条はない。同機は1人乗りで、他に被害は確認されていないという。沖縄県は在沖米軍に対し、安全が確認されるまで同型機の飛行中止を求めた。

防衛省によると、航空自衛隊が午前7時25分ごろに海上でパイロットを発見し、救助した。パイロットは米軍キャンプ瑞慶覧（同県北中城村など）に搬送された。墜落したのは7機で飛行訓練していたうちの1機で、同省が情報を収集している。

小野寺五典防衛相は11日午前、記者団に「情報の提供と安全管理の徹底、再発防止策について米側に改めて申し

入れた」と話した。(時事通信 2018/06/11-18:27)

共同通信 2018/6/11 19:25

沖縄県、F15 墜落で米に抗議へ トラブル続発で

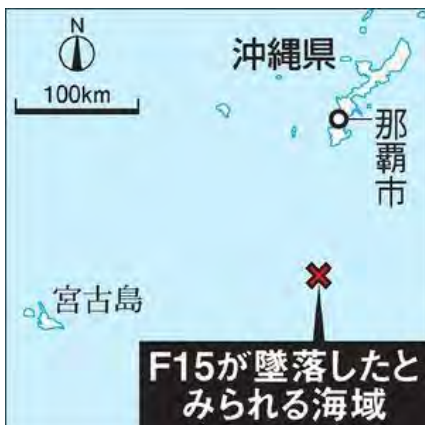
沖縄県の翁長雄志知事ら県幹部は 11 日、米空軍嘉手納基地(嘉手納町など)所属の F15 戦闘機が同県沖で墜落したことを受け、県庁で対応を協議した。小学校へのヘリコプターの窓落下や、相次ぐ不時着など米軍機によるトラブルが続発する事態を重く見て、近く米側に抗議する方針だ。

翁長知事は同日、県庁で記者団に、一連のトラブルに関し「一つも解決しないまま、また新たに F15 が墜落した」と懸念を表明した。

米空軍は「安全確保のための手順を見直す間、現地での訓練飛行を一時的に停止する」と発表。「乗組員と地域の方々の安全は最優先事項だ」とも強調した。

那覇沖に米軍嘉手納基地の戦闘機墜落 パイロットは救助

朝日新聞デジタル 2018 年 6 月 11 日 08 時 58 分



F 1 5 が墜落したと

みられる海域



防衛省や第 1 1 管区海上保安本部(那覇市)によると、11 日朝、那覇市の南沖約 8 0 キロの海上に米軍の戦闘機 F 1 5 が墜落した。パイロットは脱出し、自衛隊が救助した。嘉手納基地(沖縄県)を飛び立った機体という。

墜落 那覇沖に 米軍 F 1 5、訓練中止 県、飛行停止要求

毎日新聞 2018 年 6 月 12 日 東京朝刊

11 日午前 6 時 2 5 分ごろ、那覇市の南の海上に、米空

軍嘉手納基地(沖縄県嘉手納町など)所属の F 1 5 戦闘機 1 機が墜落した。防衛省や嘉手納基地によると、乗っていたのは操縦士 1 人で、緊急脱出して航空自衛隊那覇救難隊の救難ヘリコプターに同市の南南東約 1 2 0 キロの海上で救助された。重傷だが命に別条はないという。船舶などの被害の報告はなかった。

沖縄県が安全が確認されるまでの同型機の飛行停止を求めたのに対し、米空軍は安全確保のための手順を見直す間、一時的に F 1 5 の訓練飛行を中止することを明らかにした。県は 1 2 日には防衛省沖縄防衛局長らを県庁に呼び、抗議する。翁長雄志(おながたけし)知事は「(政府は)当事者能力がない」と批判した。防衛省沖縄防衛局は 1 1 日、再発防止を米軍に申し入れた。【前谷宏、遠藤孝康】

F 1 5 墜落 米側に抗議へ 沖縄県、トラブル続発で

日経新聞 2018/6/11 23:47

沖縄県の翁長雄志知事ら県幹部は 11 日、米空軍嘉手納基地(嘉手納町など)所属の F 1 5 戦闘機が同県沖で墜落したことを受け、県庁で対応を協議した。小学校へのヘリコプターの窓落下や、相次ぐ不時着など米軍機によるトラブルが続発する事態を重くみて、近く米側に抗議する方針だ。

翁長知事は同日、県庁で記者団に、一連のトラブルに関し「一つも解決しないまま、また新たに F 1 5 が墜落した」と懸念を表明した。

米空軍は「安全確保のための手順を見直す間、現地での訓練飛行を一時的に停止する」と発表。「乗組員と地域の方々の安全は最優先事項だ」とも強調した。

県は 12 日に防衛省沖縄防衛局に抗議する予定で、嘉手納基地を抱える沖縄県沖縄市、北谷町、嘉手納町で構成する三市町連絡協議会も沖縄防衛局を訪れ、再発防止を申し入れる。

米空軍などによると、救助された F 1 5 のパイロットは沖縄県内の米海軍病院にヘリコプターで搬送された。重傷とみられる。〔共同〕

産経新聞 2018.6.11 10:28 更新

米軍 F 1 5 戦闘機が沖縄県沖で墜落 空自がパイロット救出 小野寺防衛相「情報提供求める」



沖縄県の米空軍嘉手

納基地で訓練を行う F 1 5 戦闘機 = 2 0 1 7 年 5 月

小野寺五典防衛相は 1 1 日午前、沖縄県沖で米軍嘉手納基地(沖縄県嘉手納町など)所属の F 1 5 戦闘機が墜落し、緊急脱出したパイロットを航空自衛隊が洋上で救出したと

発表した。パイロットはけがをしているものの命に別条はなく、墜落周辺海域でも被害は確認されていないよう。防衛省は米側に事故原因などの情報提供と安全管理の徹底、再発防止策を申し入れた。

小野寺氏は記者団に「パイロットの1日も早い回復を祈る」とした上で「事故原因について速やかに米側から情報提供を求めたい。その内容は分かり次第、関連自治体に報告したい」と強調した。

防衛省によると11日午前6時24分ごろ、航空自衛隊那覇基地（那覇市）の南約92キロで、飛行中の米軍機F15から搭乗者1人が洋上に緊急脱出を行ったとの情報が統合幕僚監部に入った。これを受け、空自那覇救難隊の救難捜索機「U125」1機と救難ヘリコプター「UH60」1機を派遣。7時23分ごろ、現場海域でパイロットを発見し、同43分ごろ、UH60が救出した。パイロットは8時20分ごろ、米軍キャンプ瑞慶覧（沖縄県宜野湾市など）に到着したという。

墜落した米軍のF15戦闘機は同僚機など全7機で飛行していたが、飛行目的や事故原因は明らかになっていない。小野寺氏は事故原因の報告を受けた後、F15戦闘機の飛行停止措置や点検の必要性を検討する考えを示した。

産経新聞 2018.6.11 12:04 更新

那覇市沖の米軍F15戦闘機墜落 菅義偉官房長官「状況判明する中で対応検討」



沖縄県の米空軍嘉手

納基地で訓練を行うF15戦闘機＝2017年5月

菅義偉官房長官は11日午前の記者会見において、同日朝に那覇市の南約80キロの海上で米空軍のF15戦闘機が墜落した事故に関し、「現在、米側で原因などを調査中で、状況が判明する中で今後の対応を検討していきたい」と述べた。

菅氏は墜落を受け、防衛省から米側に対し、情報提供と安全管理の徹底、再発防止を申し入れた経緯を説明した。

産経新聞 2018.6.11 18:46 更新

墜落のF15パイロット救出「空自の迅速な救難に感謝」在日米軍がツイート

沖縄県沖で11日、米空軍嘉手納基地（沖縄県嘉手納町など）所属のF15戦闘機が墜落し、航空自衛隊那覇救難隊のヘリがパイロットを救助したことを受け、嘉手納基地が同日、ツイッターで空自への感謝を表明した。

ツイートは「今朝、航空自衛隊那覇救難隊の迅速な救難

活動により、沖縄本島南部の洋上で墜落した米空軍F15Cイーグルのパイロットが安全に救出されました。我々の同盟国である日本の支援に心より感謝申し上げます」としている。



航空自衛隊のUH60

J救難ヘリ＝平成25年10月、秋田市の空自秋田分屯基地（渡辺浩撮影）

在日米軍司令部（東京都福生市）も「航空自衛隊那覇救難隊の迅速な救難活動に、心より感謝申し上げます」とツイートした。

防衛省によると、洋上に緊急脱出したパイロットを那覇救難隊のUH60J救難ヘリが救出した。パイロットは骨折したが、命に別条はないという。

那覇沖で米軍機墜落 パイロット大けが NHK6月11日8時57分



11日朝、沖縄のアメリカ軍嘉手納基地に配備されているF15戦闘機が那覇市沖の海上に墜落し、緊急脱出したパイロットが自衛隊に救助されましたが大けがをしているということです。

11日午前6時半前、沖縄のアメリカ軍嘉手納基地に配備されているF15戦闘機1機が那覇市の南およそ80キロの海上に墜落しました。

沖縄防衛局によりますと、乗っていたパイロット1人が緊急脱出して、その後、航空自衛隊のヘリコプターに救助されたということです。

警察によりますと、足の骨を折る大けがをしているということです。

第11管区海上保安本部の航空機や巡視船が現場の海域に到着し、詳しい状況の確認を進めているほか沖縄県も情報の収集にあたっています。

在日米軍も墜落発表

在日アメリカ軍司令部は、午前9時すぎ、ツイッターで「F15戦闘機が、けさ早く、訓練中に沖縄本島の沖合で墜落し

た」と発表しました。また、「パイロットは無事救助された」としています。

翁長知事「子孫に責任持てない」

沖縄県の翁長知事は、午前10時前、県庁で記者団に対し、「去年1年間緊急着陸などいろいろなことがあったが、一つも解決しないまままた、F15が落ちた。これを当たり前のように思ってしまうのは、わたしたちは将来の子や孫に責任が持てない」と述べました。

沖縄県基地対策課の金城典和課長は11日午前8時半ごろ県庁で報道陣の取材に応じ「今のところ県民への被害の情報は入っていない。これから事実確認と、今後の対応を検討したい。米軍には安全面を十分に確保してほしい」と話しました。

小野寺防衛相 安全対策求める

小野寺防衛大臣は、防衛省で記者団に対し、「アメリカ軍F15戦闘機から搭乗者1人が洋上に緊急脱出したという情報が統合幕僚監部にあり、航空自衛隊・那覇救難隊のUH60救難ヘリコプターがパイロットの救出を行った。搭乗者は1人で、7機で飛行していた。けがはしているが意識はあり、命に別状はない」と述べました。

小野寺大臣は、事故を受けて、在日アメリカ軍に対し、情報提供と安全管理の徹底を申し入れたことを明らかにしたうえで、「アメリカ軍機の事故が繰り返し起きており、飛行の安全をしっかりと求めていきたい。墜落したF15は日本も使っている航空機であり、原因についてアメリカ側から詳細な報告を受けたい」と述べました。

嘉手納配備のF15 過去にも事故

沖縄県によりますと、アメリカ軍嘉手納基地のF15戦闘機は昭和54年に配備が始まり、嘉手納町によりますと、去年3月の時点で54機が常駐しているということです。

嘉手納基地のF15戦闘機では、過去にも墜落事故が起きていて、5年前の平成25年5月、1機が沖縄本島北部の国頭村の東およそ60キロの海上に墜落しました。

また、12年前の平成18年にも1機がうるま市の伊計島の東およそ70キロの海上に墜落しました。いずれもパイロットは墜落の直前に機外に脱出していて、命に別状はありませんでした。F15戦闘機をめぐっては、部品の落下なども相次いでいて、ことし2月には、重さおよそ1.4キロのアンテナが落下したほか、去年5月には重さおよそ2キロの部品が落下しています。

昭和47年の本土復帰以降、沖縄県が確認した県内でのアメリカ軍のF15戦闘機による事故やトラブルは、去年12月の時点で281件に上っていて、航空機の機種別で見ると最も多くなっています。

沖縄県 米軍に同型機の飛行中止を要求

NHK2018年6月11日 12時38分

沖縄のアメリカ軍嘉手納基地に配備されているF15戦闘

機が那覇市沖の海上に墜落したことを受けて、沖縄県の謝花副知事は11日午前8時15分ごろ、沖縄に駐留するアメリカ軍のポール・ロック准将から電話で事故の説明を受けたうえで安全が確認されるまで同型機の飛行中止を求めました。



沖縄県によりますと、昭和54年に嘉手納基地にF15戦闘機が配備されて以降、同型機の墜落事故は今回で10件目だということです。

また菅官房長官は11日午前の記者会見で「防衛省からは、情報の提供と安全管理の徹底、再発防止について、アメリカ側に申し入れたと報告を受けている。今回の事故の原因は引き続きアメリカが調査中だと承知しており、さらに状況が判明する中で今後の対応は検討していきたい」と述べました。

米軍のF15 墜落 同型機の飛行中止求める 沖縄県

NHK6月11日 19時03分



アメリカ軍嘉手納基地のF15戦闘機1機が11日朝、那覇市の沖合の海上に墜落した事故を受けて、沖縄県は、アメリカ軍に対し安全が確認されるまで同型機の飛行中止を求めるとともに、12日に沖縄防衛局などに抗議することになっています。

沖縄防衛局によりますと、11日午前6時半前、アメリカ軍嘉手納基地に配備されているF15戦闘機1機が、那覇市の南およそ80キロの海上に墜落しました。

乗っていたのはパイロット1人で、緊急脱出して、その後航空自衛隊の救難ヘリコプターに救助されたということです。

沖縄県警察本部によりますと、パイロットは足の骨を折る大けがをして、アメリカ軍の病院に運ばれたということです。

事故が起きたとき、墜落したF15戦闘機を含め7機で飛行していたということで、沖縄に駐留するアメリカ空軍は「訓練中に沖縄南方の海上に墜落し、乗っていたパイロット1

人は無事に脱出した。調査委員会が事故の調査を行い、情報が得られしだい提供する」と発表しました。沖縄県はアメリカ軍に対し、安全が確認されるまで同型機の飛行中止を求めるとともに、12日に沖縄防衛局の局長や外務省沖縄事務所の大使を県庁に呼び、相次ぐアメリカ軍の軍用機の事故やトラブルに抗議することになっています。また、嘉手納基地周辺の3つの自治体の長も、12日に防衛局を通じて抗議することにしていて、沖縄県内では、アメリカ軍機の安全性に対する不信や怒りの声が上がっています。

F15 戦闘機墜落 嘉手納基地での訓練飛行中止を発表 NHK6月11日 19時55分



F15 戦闘機の墜落事故を受けて、沖縄に駐留するアメリカ空軍は「現時点で事故の原因は明らかでなく、今後、調査委員会が事故発生までの事実関係を詳しく調査し、原因を究明する」としたうえで、「運用、整備、安全確保のための手順を部隊の関係者と見直す間、嘉手納基地では一時的にF15 戦闘機の訓練飛行を中止する」と発表しました。また、脱出したあと航空自衛隊に救助されたパイロットについて「アメリカ海軍病院に搬送され、重傷だ」としています。

相次ぐ米軍機の事故…沖縄で広がる不信感 NHK2018年6月11日 11時23分



沖縄県内ではおととし12月に名護市の浅瀬でアメリカ軍普天間基地の輸送機オスプレイが大破する事故が起きた後も、アメリカ軍の軍用機による事故やトラブルが相次いでいます。このうち去年10月には、普天間基地に配備されているアメリカ海兵隊のCH53ヘリコプターが東村高江地区の民間の牧草地に緊急着陸し炎上しました。また去年12月には普天間基地に隣接する宜野湾市の小学校のグラウンドに、基地を離陸した大型ヘリコプターから重さ8キロ近い窓が落下する事故が起きました。

ことし1月には、アメリカ軍のヘリコプターがうるま市や読谷村、それに渡名喜村で緊急着陸するトラブルが3回、相次ぎました。

アメリカ軍の軍用機の事故やトラブルが多発するなか、沖縄県ではアメリカ軍に対する不信や反発が広がっています。

森友巡る首相夫人発言の記録作成 決算委で財務省認める

共同通信 2018/6/11 17:45

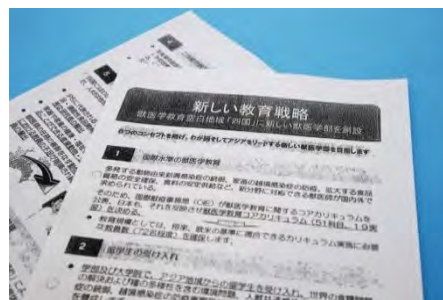


参院決算委で答弁する財務省の太田理財局長＝11日午後
学校法人「森友学園」への国有地売却問題を巡り、財務省の太田充理財局長は11日の参院決算委員会で、安倍昭恵首相夫人から「『いい土地ですから、前に進めてください』とのお言葉をいただいた」と学園側が主張したとされる2014年4月28日の交渉記録について、近畿財務局職員が「作った記憶がある」と話したと明らかにした。

一方、記録自体は相当探したが、見つからなかったと釈明した。

この日の質疑では、佐川宣寿前国税庁長官による文書改ざん開始の動機を巡り、財務省の矢野康治官房長が「国会でいろいろな糾弾を受けることを回避しようとした」と発言。その後、撤回する場面もあった。

文科省、加計計画の照会経緯報告 参院予算委に 共同通信 2018/6/11 19:11



文科省が専門家に送ったメールに添付した資料『新しい教育戦略』のコピー

学校法人「加計学園」の獣医学部新設を巡り、文部科学省が2015年3月に学園側の計画を専門家に意見照会した際の経緯をまとめ、参院予算委員会に報告したことが11日、同省への取材で分かった。報告は8日付。愛媛県の新文書にある「15年2月の学園理事長と総理との面会時に学園が

提出した資料を基に照会した」との事実関係は確認できなかったとした。

安倍晋三首相と加計学園は面会はなかったとしているが、報告の内容には新文書の記載と符合する部分も多く、野党が追及を強めるのは必至だ。

参院決算委 18日に総理と全閣僚出席の質疑・採決で合意 NHK2018年6月11日 11時34分



平成28年度決算を審査している参議院決算委員会は、11日の理事会で来週18日に安倍総理大臣とすべての閣僚に出席を求めて締めくくりの質疑と採決を行うことで与野党が合意しました。

参議院は予算が適正に執行されたかを審査する決算の審議に力を入れていて、決算委員会で平成28年度決算についてことし4月から各省庁別に質疑を行うなど審査を進めてきました。

11日開かれた決算委員会の理事会で今後の審議日程を協議した結果、来週18日に安倍総理大臣とすべての閣僚に出席を求めて締めくくりの質疑と採決を行うことで与野党が合意しました。

質疑では決算の内容だけでなく、12日の米朝首脳会談の結果を踏まえた日本政府の対応や森友学園や加計学園をめぐる問題などについても論戦が交わされる見通しです。

「立憲と国民、どちらでもええから応援を」立憲・辻元氏 朝日新聞デジタル2018年6月11日 16時36分



立憲民主党の辻元清美氏

辻元清美・立憲民主党国会対策委員長（発言録）

（自身が）いつも怖い顔して、テレビのニュースに出てくるんですね。いつも怒っているんですよ。安倍政権あきません。麻生さん辞めさせないかん。実はそれが私の役割なんです。希望を捨てずにいきましょう。

前の衆院選のどさくさで、みなさんほんまに野党どない

なってるねんと、これからどうすんねんと、思っている人が多いと思います。ところが比例区の票を見たら、立憲1100万、希望965万。両方で2千万以上なんです。公明党は600万台で立憲の半分くらい。自民党は1800万なんです。

ですから、候補者をうまいこと調整してやっていけば勝てるはずなんです。この2千万以上というのは（民主党が）政権下りてから、民主党時代も民進党時代も1回もないんです。（立憲と国民民主党が）それぞれの持ち味を生かして両方で徹底的に票を稼いで、私は今度の参院選で、（衆参の）ねじれに手が掛かるところまで追い詰めたい。新潟（県知事選）で負けてがっかりしていたが、あれも僅差（きんさ）ですよ。

「野党はあかん」というヒマがあったら、「安倍政権あかん」にエネルギー変えていただいて、野党一緒に頑張ろうで、ぜひ応援をよろしく。もう立憲も国民も関係ありません。どっちでもええから応援してください。（JR連合定期大会でのあいさつで）

野田前首相 「千葉民主連合」設立総会

毎日新聞2018年6月12日 東京朝刊

衆院会派「無所属の会」の野田佳彦前首相は10日、自身が代表を務め、千葉県の立憲民主、国民民主両党の全地方議員ら約60人が参加する政治団体「千葉民主連合」の設立総会を千葉市で開いた。統一地方選や次期参院選で立憲、国民を含む候補者調整などを進めるため、同団体に参加しない両党の地元国会議員とも連携するとしている。野田氏は「（旧民進党系が）足を引っ張り合わないよう、議席の最大化を図る」と記者団に語った。

産経新聞2018.6.11 17:32 更新

野田前首相が地域政治団体「千葉民主連合」設立 国会議員は小西洋之参院議員と2人



新たな政治団体設立の決意を述べる

野田佳彦前首相＝10日午後、千葉市（永田岳彦撮影）

衆院会派「無所属の会」の野田佳彦前首相（千葉4区）は10日、自らを代表とする地域政治団体「千葉民主連合」の設立総会を千葉市内のホテルで開いた。会合には野田氏のほか、小西洋之参院議員（千葉選挙区）と県内の旧民進党系地方議員ら53人の計55人が参加。野田氏は県内の野党勢力の結集に向け、来年の統一地方選や参院選で候補者調整を行う意向を表明した。

野田氏はあいさつで「バラバラに戦っている自民党政権を倒すことはできない。千葉県で全身全霊をかけて活動

していく」と強調。会合では統一地方選や参院選について立憲民主、国民民主両党と県連レベルで連携を図っていくことを確認した。統一地方選での共産党との連携については「地方議会レベルでは非自民、非共産にならざるを得ない部分がある」として、否定的な見方を示した。

旧民進党をめぐっては、無所属の会の岡田克也代表らが結成した「三重新政の会」など地域政党や政治団体の設立が各地で相次いでいるが、野田氏は連携の可能性について「それぞれ地域の事情がある」と述べるにとどめた。

社民党の又市党首 公務に復帰

NHK2018年6月11日 11時39分



先週7日に国会で体調不良を訴え、検査入院していた社民党の又市党首は、11日から公務に復帰し、引き続き党首としての職責を果たしていく考えを示しました。

社民党の又市党首は、先週7日、参議院総務委員会の審議中に体調不良を訴えて、救急車で病院に搬送され3日間、検査入院していました。

又市氏は、11日の参議院決算委員会に出席して公務に復帰し、NHKの取材に対し「大変、お騒がせした。特段の異常はなく『過労ではないか』という見立てだった。体調を管理しながら、党務にもあたっていきたい」と述べ、引き続き党首としての職責を果たしていく考えを示しました。

新規党員1万6千人目標＝共産



共産党の第4回中央委員会総会であいさつする志位和夫委員長＝11日午後、東京都渋谷区の同党本部

共産党は11日、第4回中央委員会総会を党本部で開き、来年夏の参院選をにらんで今年9月までを「党勢拡大特別月間」と位置付け、新規の党員獲得目標として1万6000人を掲げた。志位和夫委員長は「党勢の上げ潮をつくり出すことが（参院選の）決定的な推進力となる」と強調した。

党本部によると、2017年1月の前回党大会時点で約30万人だった党員数は減少傾向にある。志位氏は、党員減少について「致命的な弱点となりかねない」と危機感を表明。参院選比例代表の850万票の獲得目標に改めて言及した。（時事通信 2018/06/11-16:25）

共産、党勢拡大へ「特別月間」 中央委総会で決定

日経新聞 2018/6/11 18:00

共産党は11日、党本部で中央委員会総会を開いた。志位和夫委員長は、来年の統一地方選と参院選を見据えた党勢拡大が必要と訴えた。9月末までを特別月間と位置づけ、党員数と機関紙「しんぶん赤旗」の購読者数の増加を呼びかけた。

党中央委員会は党大会に次ぐ意思決定機関。今回は党勢拡大を主題に掲げた。志位氏は党勢の後退が「致命的な弱点となりかねない」と指摘。来年夏の参院選で「市民と野党の共闘を必ず成功させ、野党連合政権に道をひらく」と強調し、比例代表850万票の獲得を目指す方針を示した。

特別月間のあいだに党員数を1万6千人増やし、機関紙「しんぶん赤旗」日曜版の購読者数を8万3千人増やすよう呼びかけた。「しんぶん赤旗」は7月にスマートフォンなどで読める電子版を始める。

産経新聞 2018.6.11 15:46 更新

共産党が4中総 党員1万6千人増の「特別月間」運動へ 志位委員長「目標を達成したのは1970年代半ばまで…必ず達成する党へ成長を」



共産党の第4回中央委員会

総会であいさつする志位委員長＝11日午後、東京都渋谷区の党本部

共産党の第4回中央委員会総会（4中総）が11日午後、党本部で始まった。同日から今年9月末までを党勢拡大の「特別月間」と定め、党員数を現状から1万6千人増やすことなどを掲げた決議案が諮られた。

志位和夫委員長は幹部会報告で、党勢の現状について「全党的には、連続的に後退が続くという状況にある。このまま推移するなら、来年の参院選、統一地方選挙で躍進を勝ち取るという大目標とのかかわりで致命的な弱点となりか

ねない」と表明した。

さらに「わが党は党勢拡大に力を集中する月間や大運動に繰り返し取り組んできたが、率直に言って、自ら決めた目標を達成したのは1970年代なかごろまでの運動であり、その後は『奮闘はするが目標は達成できない』という状況が続いてきた」と断じ、「特別月間の取り組みを通じて、自ら掲げた目標を必ず達成する党へと質的にも成長、発展を図ることを心から呼びかけたい」と訴えた。

その上で「来年の参院選で自民、公明とその補完勢力を少数に追い込み、政局の主導権を野党が握り、野党連合政権に道を開く。そういう流れを作り出す上でも、共産党が党勢の上げ潮を作り出すことが決定的な推進力となる」と強調した。

共産 志位委員長 「特別月間」で党勢拡大に全力

NHK2018年6月11日 16時20分



来年の統一地方選挙や参議院選挙に向けて、共産党の志位委員長は党の中央委員会総会で、党員数の減少が続いているとして、ことし9月までを「特別月間」と位置づけ、党勢の拡大に全力を挙げる考えを示しました。

この中で共産党の志位委員長は「党員数などの後退が続く状況にあり、来年の統一地方選挙や参議院選挙で致命的な弱点となりかねない」と指摘し、ことし9月までを「特別月間」と位置づけ、党勢の拡大に全力を挙げる考えを示しました。

そのうえで志位氏は「来年の参議院選挙では、市民と野党の共闘を『本気の共闘』として必ず成功させ、政局の主導権を野党が握り、『野党連合政権』に道をひらいていく。『党勢の上げ潮』を作り出すことが、決定的な推進力となる」と述べました。

産経新聞 2018.6.11 16:42 更新

「大平正芳元首相の声なき声を聞け」古賀誠元幹事長、大平氏墓参で

自民党岸田派（宏池会）名誉会長の古賀誠元幹事長は10日、同派所属の衆参両院議員9人と東京都府中市の多磨霊園を訪れ、宏池会中興の祖の大平正芳元首相の墓参りをした。墓参は12日の大平氏の命日に合わせて若手議員が毎年行っており、今年で没後38年を迎える。

古賀氏は後輩議員らを前に「大平氏が保守本流の正統派であることは誰も疑う余地がない。同時に大平氏ほどガバナビリティー（統治能力）を大切に政治家はいない。

保守本流の伝統とガバナビリティーという政治の一番大事なことを心に刻む政治集団として、宏池会を引き継いでほしい」と述べた。

その上で、「特に今年はいろいろご苦勞があると思う。大平先生が自分たちに望むもの、期待するものは何か、しっかりと声なき声を聞いて一致団結してほしい」とも語った。秋の自民党総裁選を見据えた発言とみられる。

総裁選では安倍晋三首相が3選を目指す、「ポスト安倍」の一角とされる岸田派会長の岸田文雄政調会長は態度を決めていない。

森氏「ちょっと困るが頑張れ」 野田氏の総裁選立候補に朝日新聞デジタル 2018年6月11日 23時05分



野田聖子氏

野田聖子総務相は11日、東京都内で開いた政治資金パーティーで、今秋の自民党総裁選について「皆さんに薫陶を受けた中で得た様々な知見を、もっと発出したいと願っている。それを披瀝（ひれき）できるのは総裁選しかない」と述べ、立候補の意思を改めて表明した。

野田氏はアベノミクスで円高が是正されたことなどを評価した上で、「アベノミクスは役割を果たした。次の時代に入っていかなければならない」とし、経済政策を転換する必要性を訴えた。前回総裁選で、安倍晋三首相の無投票再選をめざす官邸に推薦人を切り崩されたことを念頭に「前は封じ込められたが、今回は堂々たる政策論争をしていく」とも強調した。

パーティーでは、安倍氏と同じ派閥に所属していた森喜朗元首相が来賓としてあいさつ。「安倍さんと（総裁選を）やられるとちょっと困るが、大いに頑張れと言っている」とエールを送った。

岸田氏「官僚萎縮との指摘ある」

自民党の岸田文雄政調会長は11日、大阪市での党大阪府連の会合で講演し、安倍政権の現状について「官僚が萎縮してしまっているのではないかと指摘がある」と述べた。トップダウン型とされる安倍政権を念頭に「トップダウンとボトムアップ、賢明な使い分けができる政治こそ、国民にとって安心できる政治なのではないか」とも語った。

（時事通信 2018/06/11-20:10）

大阪への「思い」アピール＝安倍、石破氏に対抗－岸田氏



自民党の大阪府連幹部らとお好み焼きを食べる岸田文雄政調会長（左奥）＝11日午後、大阪市

自民党の岸田文雄政調会長は11日、大阪市を訪れ、党大阪府連幹部らとお好み焼き店で会食した。岸田氏は「広島のお好み焼きで育った私としては最も気になる存在が大阪のお好み焼き。お好み焼きを通じて大阪を知る一助としたい」と語り、大阪への「思い」をアピールした。

秋の党総裁選をにらみ、安倍晋三首相と石破茂元幹事長も最近、大阪を訪問。首相は焼き肉、石破氏は串カツと、それぞれ地元名物に舌鼓を打っており、両氏への対抗心を示した形だ。

この後、岸田氏は大阪市内の中小企業を視察。記者団に「今回の視察をきっかけに大阪の問題に、よりしっかりと思いを巡らせていきたい」と強調した。

岸田氏は総裁選に出馬するかどうかについて明言していないが、この日も「まずはこの国会で重要法案を成立させ、責任を果たすことに集中すべきだ。それから先のことは今のところ何も申し上げていない」と述べるにとどめた。（時事通信 2018/06/11-19:38）

「私も党内で突き上げられている」 自民・岸田政調会長
朝日新聞デジタル 2018年6月11日 20時01分



お好み焼きをほおぼる自民党

の岸田文雄政調会長（中央）＝11日、大阪市東成区、今野忍撮影

岸田文雄・自民党政調会長（発言録）

政治の意思決定において、トップダウンがいいかボトムアップがいいか。日本はボトムアップで多くの方の意見を積み重ねていくので、決断が遅いと言われてきた。そこで、橋本（龍太郎）行革のときから首相官邸に意思決定や人事の権限を集め、日本もトップダウンで素早い決断ができるように努力した。

しかし、これによって、官僚が萎縮していないか、党内

の議論がくみ上げられていないのではないかと指摘されるようになった。党の議論はこれでいいのか、と政調会長の私も党内で突き上げられている。トップダウンかボトムアップか、いまの政治を見ていると考えるべき課題なんだろう。（大阪市内の講演で）

総裁選対応、地方票を重視＝「米朝」結果も影響－自民・竹下氏

自民党竹下派会長の竹下亘党総務会長は11日、東京都内で講演した。今秋の総裁選から国会議員票と地方票の比重が同じになることから、「地方票の行方もしっかり見て、党员の中で何が起きているのか見極めながら動いていかなければならない」として、地方票の動向を重視して対応を決める意向を示した。「自主投票でいいという状況にはならない。一定の判断をしなければならない」とも語った。

竹下氏は、安倍晋三首相の総裁3選について「現時点でなかなか確実と言い切れない」との見方を改めて示した。その上で「米朝首脳会談やその後の国際環境、北東アジアの平和と安全の問題は総裁選に影響する。国際情勢、党や首相に対する国民の評価も冷徹に見つめながら、（判断を）やっていかなければならない」と述べた。（時事通信 2018/06/11-15:59）

自民 竹下氏 新潟知事選勝利「安倍政権の追い風にならず」
NHK 2018年6月11日 15時22分



新潟県知事選挙で、自民・公明両党が支援した候補が当選したことについて、自民党の竹下総務会長は、「安倍政権の追い風にはならない」として、引き続き緊張感を持った政権運営が必要だという認識を示しました。

竹下総務会長は東京都内で講演し、10日に投票が行われた新潟県知事選挙について、「森友学園や加計学園をめぐる問題は、選挙戦にもものすごく響いた。『中央政界を信頼できない』と言っていた人が何人もいたのは事実だ」と指摘しました。

そのうえで竹下氏は「支援した候補が勝ったことは重いが、安倍政権の追い風には、あまりならない」と述べ、引き続き緊張感を持った政権運営が必要だという認識を示しました。

また、竹下氏は秋の自民党総裁選挙について「去年の後半ぐらいは『安倍総理大臣の3選で間違いはない』という空気が支配的だったが、現時点では、『確実にそうだ』と言い切

れない。米朝首脳会談や、日本を取り巻く国際情勢もにらみながら、党や安倍総理大臣に対する国民の評価も冷徹に見つめなければならない」と述べ、政治情勢を見極めて、派閥としての対応を判断する考えを重ねて示しました。

党主導で信頼回復を 自民党議員グループで意見相次ぐ NHK2018年6月11日 21時37分



森友学園をめぐる問題などを受けて、自民党の谷垣前幹事長を中心とする議員グループが11日夜に開いたパーティーでは、所属議員から党主導で信頼回復の取り組みを進めることや、丁寧な政権運営を求める意見が相次ぎました。この中で議員グループの代表世話人を務める逢沢元国会対策委員長は「行政文書の管理や行政の信頼に関わる問題がじゃっ起されている。しっかりと行政を立て直し、政治や行政の責任を明らかにし、新しい自民党のリーダーシップを国民にしっかりと示していきたい」と述べ、党が主導して信頼回復の取り組みを進めるべきだという考えを強調しました。

また、中谷元防衛大臣は「いちばん肝に銘じなければならないのは、権力が強くなればなるほど、謙虚に正直にやっていかなければならない。官僚や行政が国民に謙虚になり、国民の信頼のおける政治を成し遂げていきたい」と述べ、丁寧な政権運営が必要だと訴えました。

一方、自転車事故で大けがをし、去年、政界を引退した谷垣前幹事長はパーティーを欠席し「着実に体調が回復しており、1日も早く皆様にお目にかかれるよう精進したい。日本の政治はかつてないほど難しいかじ取りを迫られているが、難局を乗り越えてもらいたい」などとするメッセージを寄せました。

政界引退の公明・漆原氏「国会は怒れ」＝公文書問題

政界を昨年引退した公明党の漆原良夫前中央幹事会長は11日のTBSラジオの番組で、財務省の決裁文書改ざんなど公文書管理をめぐる問題について「国会が怒らなければ駄目だ。与野党攻防ではなく、国会として真相解明と再発防止に真剣に取り組まなくてはならない」と指摘した。公明党幹部に対し、「国民に聞こえるように、見えるように言うべきときはきちんとと言え」とも求めた。(時事通信 2018/06/11-18:31)

森友・加計学園問題「平成の一大不祥事」 公明・漆原氏

朝日新聞デジタル 2018年6月11日 19時59分



漆原良夫・公明党顧問

漆原良夫・公明党顧問（発言録）

（森友・加計学園問題で）心配していることがある。国会は国権の最高機関だ。内閣の下請けじゃない。一連の文書の改ざん、廃棄、隠蔽（いんぺい）。行政府が立法府を一年間だましてきた。そういう意味では、国民の代表たる国会の権威がないがしろにされている。だから、国会が怒らないといけない。

ところが、政局的な観点から与野党が攻防戦をやっているという声が多い。野党であろうが与党であろうが、国会としてこの問題にどう取り組むのか。真相解明と再発防止をどうやって進めていくのか、真剣に取り組まないといけない。

今回の問題は平成の一大不祥事だ。将来、後世のために国会としてどうしたのか（と問われている）。衆院、参院の力できちっと解決していただきたい。（TBSラジオの番組で）

情報収集、慌ただしく＝トランプ氏宿舎に作業拠点－日本政府

【シンガポール時事】日本政府は11日、史上初の米朝首脳会談に向け、シンガポールで情報収集に努めた。トランプ米大統領が宿泊するホテル内に作業拠点を設置。現地に派遣された谷内正太郎国家安全保障局長、金杉憲治外務省アジア大洋州局長らが慌ただしく動き回った。

金杉氏は11日夜、北朝鮮核問題に関する6カ国協議の首席代表を務める韓国の李度勲平和交渉本部長とホテル内の中国料理店で食事をともにしながら協議。この後、金杉氏は「お互いの考え方を共有しながら、12日の米朝会談を見守ろうということになった」と落ち着いた表情で記者団に語った。

11日、谷内氏はワイシャツにノーネクタイ姿で、作業拠点の部屋に何度も出入り。金杉氏はスーツを着用して外出し、午前約1時間半、午後1時間15分ほどホテルを離れた。11日には米朝の実務者協議が行われていたため、関係者と接触した可能性もある。ただ、行き先や会談相手は明らかにせず、「情報収集か」との記者団の問い掛けにも「いやいや、まあ」と口が重かった。

安倍晋三首相は11日、トランプ氏との電話会談で米朝会談での拉致問題提起を再確認。現地派遣組も拉致問題の扱いや、非核化についての調整状況を探ったもようだ。(時事通信 2018/06/11-23:39)

北朝鮮は一步踏み出せ＝安倍首相

安倍晋三首相は11日、東京都内で開かれた国際交流会議であいさつし、12日の米朝首脳会談に関し、「北朝鮮が国際社会の期待をしっかりと認識し、未来に向かって正しい道へと大きな一步を踏み出すことを念願する」と述べ、北朝鮮が拉致・核・ミサイル問題で国際社会の期待に沿うよう促した。

首相は「北朝鮮が問題を包括的に解決した暁には、日朝平壤宣言にのっとり、不幸な過去を清算して国交正常化し、経済協力を行う用意がある」と北朝鮮への経済支援に改めて言及。「北朝鮮が平和と法の支配と安定に向けた道へと踏み出すことの効果は、アジアを超越し、世界経済全体へ及ぶ」と強調した。(時事通信 2018/06/11-20:21)

拉致提起「100%保証」＝トランプ氏、首相に明言一電話会談



トランプ米大統領との電話会談後、報道陣の取材に応じる安倍晋三首相＝11日午後、首相官邸

安倍晋三首相は11日夕、シンガポールを訪問中のトランプ米大統領と電話で会談し、12日の米朝首脳会談に向けて最終的な対応を協議した。トランプ氏は「しっかり時間を取って金正恩朝鮮労働党委員長と話したい」と説明。会談での日本人拉致問題の提起について「100%保証する」と語った。会談後、首相が明らかにした。

首相によると、トランプ氏が、米朝当局による最新の調整状況を説明。その上で、会談に臨む対処方針を綿密に擦り合わせたという。

首相は記者団に「基本的な方針は日米、日米韓で完全に一致している。(米朝)首脳会談が北東アジアの平和と安定に向けて大きな一步を踏み出す歴史的な会談となることを期待している」と語った。

会談は米側の申し入れで行われた。(時事通信 2018/06/11-19:59)

日米首脳電話協議 拉致問題の提起、米が「100%保証」 毎日新聞 2018年6月12日 東京朝刊

安倍晋三首相は11日、シンガポールに滞在中のトランプ米大統領と電話で約30分間協議した。首相は協議後、首相官邸で記者団に対し「米朝首脳会談の方針についてさらに綿密なすり合わせを行った。基本方針は日米、日米韓で完全に一致している」と改めて強調した。協議は米側の

要請で行われ、トランプ氏は米朝会談の際に拉致問題を提起することを「100%保証する」と首相に伝えた。

河野太郎外相は11日の参院決算委員会で、米朝会談後に、首相とトランプ氏が再び電話で協議するとの見通しを表明。自身は米朝会談を受けて韓国を訪問し、ポンペオ米 국무長官や韓国の康京和外相と会談する考えを示した。安倍首相は同日の東京都内の会合で、拉致問題について「最終的には日本と北朝鮮が直接向かい合って解決しなければならない」と述べ、日朝首脳会談の開催にも意欲を示した。

【川辺和将、秋山信一】

トランプ氏に詰めよったのは…？ G7写真、各国の事情 朝日新聞デジタル伊藤喜之 2018年6月11日 18時29分



日本政府が首相官邸のフェイスブ

ックに載せたG7の協議の様子。安倍晋三首相が真ん中で、トランプ米大統領を見据えてじっくり話を聞いているように見える



トランプ米大統領に詰め寄っているようにみえるドイツのメルケル首相、間に立って腕を組む安倍晋三首相——。カナダ東部のシャルルボワで8～9日に開かれた主要7カ国首脳会議(G7サミット)で、協議の様子を写した写真がソーシャルメディアで話題だ。同じ場面の写真でも、各国がインターネット上に投稿した写真は違う角度で撮られ

たもので、それぞれの立場が垣間見える。

G7サミットでは、トランプ米政権が打ち出した鉄鋼・アルミ製品への高関税措置をめぐり、激しいやりとりが交わされた。

通常の話し合いとは別に、8日深夜や9日の朝食後、各国首脳らによるひざ詰めの協議が開かれたという。写真はその模様を切りとったものとみられるが、各国とも自国のトップが中心となり、活躍ぶりを際立たせるべく撮影したことがよくわかる。

開催国のカナダ首相府が協議の写真をメディアに提供したほか、安倍首相は首相官邸のフェイスブックなどで、ドイツ、フランス、イタリアなどの各首脳らもツイッターなどに写真を投稿した。米ホワイトハウスのサンダース報道官がツイッターに上げた写真は、トランプ氏が真ん中にいて周囲の首脳らを説得しているようにも見える。だが、なぜか写真はモノクロだ。(伊藤喜之)

新潟新知事と連携期待＝菅長官

菅義偉官房長官は11日の記者会見で、新潟県知事選で与党が支持した花角英世氏が当選したことを受け、「自民、公明両党が自信を持って支援した候補を県民が選んだ。政府が行っている経済政策、地方創生、地域住民の向上の施策にしっかり取り組んでいただきたい」と述べ、連携に期待を示した。

知事選の争点となった東京電力柏崎刈羽原発の再稼働問題については、「原子力政策は引き続き安全最優先で進めつつ、今後、新知事の考えを伺いながら、広く県民の理解を頂けるよう取り組んでいきたい」と語った。(時事通信 2018/06/11-12:14)

新潟県新知事「原発出直し選も」 野党をレッテル貼りと批判

共同通信 2018/6/11 18:56



自民党県議の前であいさつする、新潟県知事選に初当選した花角英世氏＝11日、新潟県議会

10日投開票の新潟県知事選で初当選した前海上保安庁次長花角英世氏(60)は11日、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の是非について、出直し知事選で判断を仰ぐ可能性に再度言及した。花角氏が元官僚であることを念頭に、知

事選で5野党推薦の対立候補側が森友、加計学園問題を絡め非難したことを「国政の関係でのレッテル(貼り)」と批判した。県庁で記者団に語った。

花角氏は5月の出馬表明後、原発の安全性検証に2～3年かけた上で、再稼働を巡る出直し選検討を表明。当選翌日の11日も「辞して信を問うことはあり得る」「出直し知事選も辞さないだけの重い判断をする」と述べた。

原発検証2～3年と新知事、新潟 菅氏は県民理解を重視 共同通信 2018/6/11 12:51



新潟県知事選の初当選から一夜明け、取材に応じる花角英世氏＝11日午前、新潟市

新潟県知事選から一夜明けた11日、初当選した花角英世氏(60)は、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の是非判断に向けた安全性検証に今後2～3年間を要するとの認識を改めて示した。「どこかで取りまとめる。2年なのか3年なのか確認したい」と新潟市内で記者団に語った。菅義偉官房長官は花角氏の意向を踏まえ、県民理解を重視する考えを示した。

4月に辞職した米山隆一前知事も花角氏と同様に2～3年間との考えを示していた。花角氏は記者団に対し、是非判断の際に「県民に納得をいただけるか意思を確認したい」と話した。「改めて責任の重さを実感している」と抱負を語った。

経産相、新潟知事当選の花角氏に面会意向 再稼働めぐり 朝日新聞デジタル 2018年6月11日 13時03分

新潟県知事選に自民、公明支持の花角英世氏が初当選したことを受けて、世耕弘成経済産業相は11日、「まずは新知事のお考えをしっかりとうかがう機会を持ちたい」と述べ、花角氏に早期に面会する意向を示した。経産省内で記者団の取材に答えた。

東京電力柏崎刈羽原発(新潟県)の再稼働については「東電の経営うんぬんではなくて、安全最優先で進めたい」とし、「原子力政策は新知事のお話を聞きながら、国としても理解をいただけるよう努めてまいります」と語った。

一夜明け「緊張してきた」＝初当選の花角氏－新潟知事選

10日に投開票された新潟県知事選で、与党の支持を受

けて初当選した花角英世氏（60）は11日朝、報道陣に対し、「責任の重さを実感し、気持ちが引き締まってきた。緊張してきた」と一夜明けての心境を語った。

この日はあいにくの雨となったが、花角氏はJR新潟駅前に立ち、家族や支援者とともに「ありがとうございます」と道行く人に笑顔であいさつしたり、求めに応じて握手をしたりした。

花角氏は県政全般について「どういう政策をこれから作っていくのか、一つ一つ方向感を示していきたい」と語った。一方、東京電力柏崎刈羽原発（同県柏崎市、刈羽村）の再稼働問題に関しては「（県の委員会）検証作業を続けてもらい、結果を踏まえて判断する」と述べた。（時事通信 2018/06/11-10:33）

新潟知事選、花角氏が初当選...与党に追い風

読売新聞 2018年06月11日 11時51分

前知事の辞職に伴う新潟県知事選は10日、投開票され、
はなずみ
 自民、公明両党が支持する前海上保安庁次長の花角英世氏（60）が、立憲民主、国民民主、共産、自由、社民の5党が推薦する前県議の池田千賀子氏（57）ら2人を破り、初当選した。

事実上の与野党対決を制した与党にとっては、終盤国会や来年の統一地方選、参院選に向けた政権運営へ追い風となりそうだ。

かけ

森友・加計学園問題などで内閣支持率が低迷する中、政権への評価や同県にある東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題が争点となった。

花角氏は政党色を抑える「県民党」を掲げ、再稼働については出直し選も視野に「県民が納得できるか見極める」などと主張。「現状では再稼働に同意できない」と訴える池田氏と同様に慎重姿勢を強調した。

各党は国政選並みの支援態勢を敷き、与党側が地力を見せつけた。政府・与党は勝利により一定の信任が得られたとして、6月20日までの国会会期を延長し、受動喫煙対策を強化する健康増進法改正案など重要法案の成立を図る構えだ。

自民党の二階幹事長は10日深夜、党本部で記者団に「勝ったことにおごることなく、油断のないようにし、今後の政権（運営）に全力を尽くす」と述べた。安倍首相がならむ党総裁選の連続3選に向けては「良い風が吹いてきたと判断して間違いない」と語った。

一方、知事選を参院選に向けた共闘の試金石と見ていた野党側は、戦略の練り直しが必至だ。

投票率は58・25%で、前回（53・05%）より5・2ポイント上がった。

選挙 新潟県知事選 花角氏が初当選 安堵の与党、不安消えず 自公地元組織に溝、参院選に懸念

毎日新聞 2018年6月12日 東京朝刊



6月20日	通常国会会期末、会期延長?
9月	自民党総裁選
同月末	国民民主党代表選(任期満了)
11月15日	那覇市長選(任期満了)
12月9日	沖縄県知事選(任期満了)
2019年春	統一地方選
夏	参院選

今後の主な選挙日程など

10日投開票された新潟県知事選は、自民、公明両党が支持した前海上保安庁次長、花角英世氏（60）が初当選し、総力戦を展開した政府・与党に安堵（あんど）感が広がった。秋の自民党総裁選に向け、安倍晋三首相の3選に「追い風」との声も漏れる。ただ、森友・加計問題で政権への風当たりがなお強いことに加え、知事選では自公の地元組織に溝が残り、来夏の参院選などに懸念も残した。

首相は11日の自民党役員会で、知事選勝利に謝意を示して「おごることなく政権与党としての責任を果たしていく」と強調。花角氏は自民の二階俊博幹事長の運輸相時代の秘書官で、メンツを保った形の二階氏は10日夜、首相の総裁3選について「追い風、良い風が吹いてきた」と記者団に機嫌よく語った。

ただ自民党内には勝利を手放しで喜ぶ空気は薄い。県内30市町村別の得票数をみると、花角氏が野党推薦の池田千賀子氏（57）を下回ったのは7市2町村。うち長岡、小千谷、上越など5市1町は自民党現職がいる二つの衆院小選挙区が含まれる地域だ。新潟では2017年衆院選の小選挙区で自民が2勝4敗と負け越しており、「足腰が弱っている」（与党幹部）との懸念は消えない。

森友・加計問題による政権批判の影響を食い止めようと、与党は知事選で党幹部が街頭にほとんど立たず、政党色を薄めて組織戦を展開。首相も応援には入らなかった。それでも二階氏は、こうした問題が「本当に邪魔なやつだった。関係者には大いに反省してもらいたい」と述べ、政権の引き締めを図った。

自民の竹下亘総務会長も11日の東京都内の講演で「森友・加計問題はものすごく響いた」と指摘。さらに「（知事選の勝利は）政権の追い風にはあまりならない。ただしアゲンスト（逆風）ではなくなったとは言える」と冷ややか

に語った。

一方、地元の自民党県連と公明党県本部は序盤からの食い違いが解消できなかった。公明党関係者は「僅差になるとうちの力が際立つ」と胸を張りつつも、選挙協力の不徹底に不満を口にする。公明党の斉藤鉄夫選対委員長は10日夜、記者団に対して「今回は県民の生活、経済活性化などが最大の争点だった。安倍政権が信任されたのではない」との見方を示した。【竹内望】

野党「寄り合い」練り直し

推薦した池田氏が敗れた立憲民主党など野党6党派は、来夏の参院選へ共闘戦略の練り直しを迫られそうだ。2016年参院選新潟選挙区や前回知事選では野党系が勝利していたが、今回は「寄り合い所帯」が十分機能せず、森友・加計学園問題を訴えて政権批判票の取り込みを図ったことも「有権者は地元の課題解決を優先し、浮動票につながらなかった」（立憲幹部）との見方もある。

知事選では立憲、国民民主、共産、自由、社民と衆院会派「無所属の会」の代表らがそろって街頭演説するなど、共闘をアピール。しかし旧民進党組織や連合新潟と共産、社民などの連携は一枚岩とは言えず、池田氏選対本部長の菊田真紀子衆院議員（無所属）は10日夜、記者団に「あっちに気を使い、こっちに気を使い、ものすごくエネルギーが割かれた」と嘆いた。

東京電力柏崎刈羽原発の再稼働を巡る争点化も不発。「与党隠し、原発隠し戦略」（国民の玉木雄一郎共同代表）に後れを取った。

ただ、前哨戦で出遅れた池田氏が花角氏に約3万7000票差に迫り、10日投票・11日開票の東京都中野区長選では野党系候補が与党系の現職に勝利。共産党の志位和夫委員長は11日の中央委員会総会で「全国でも共闘をさらに発展させる」と強調した。【樋口淳也、南茂芽育】

花角次期新潟知事、原発再稼働「検証踏まえ判断」

日経新聞 2018/6/11 10:09

10日投開票の新潟県知事選で初当選した前海上保安庁次長の花角英世氏（60）は11日朝、新潟市内で報道陣の取材に応じた。東京電力柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）の再稼働については「（県の検証委員会に）検証作業を続けてもらい、一定の検証結果を示していただき、それを踏まえてしっかり判断する」と述べた。



当選から一夜明けて街頭で県民らに挨拶する花角英世氏

（11日午前、新潟市）

検証作業のスケジュールについては「どのぐらいかかるのかまだ、私自身もつかんでいない。これからしっかり（検証作業の）議論の状況をうかがう」と述べるにとどめた。

花角氏は選挙期間中から再稼働に関して慎重に判断する姿勢を示してきた。検証後の再稼働同意の判断に関して「県民の皆さんの意思を確認する」と強調。再稼働の判断を争点に出直し知事選を実施し、県民の信を問う可能性を改めて示唆した。

今後の県政運営については「まずは暮らしやすい、安心して暮らせる新潟県づくりと経済がしっかり動いている活力のある新潟県、この2つをめざしていきたい」との考えを示した。

産経新聞 2018.6.11 22:15 更新

【新潟県知事選】与党勝利で安堵も連携に乱れ 共闘野党は思惑にズレ

新潟県知事選で支持した花角英世氏の勝利を受け、与党には11日、終盤国会の運営に追い風になるとの受け止めが広がった。しかし事実上の一騎打ちとなった野党系候補とは僅差の結果となり、一時は与党幹部と地元組織の足並みも乱れ、来年夏の参院選に向け課題も残った。共闘した野党は執拗に安倍晋三政権を攻撃したのが裏目に出た。（水内茂幸、松本学）

「二階俊博幹事長をはじめ、党役員の総力を結集して勝つことができた。おごることなく約束を実行に移し、政権与党としての責任を果たしていく」

首相は11日の自民党役員会でこう述べ、知事選の勝利に謝意を示した。今回の勝利にとりわけ安堵（あんど）したのは二階氏だ。党所属国会議員を延べ148人投入し、二階派（志帥会）の議員秘書を花角氏の選対事務所に常駐させ、威信をかけた態勢を敷いた。

二階氏は11日の記者会見で、今後の国会運営に「いい影響を及ぼすだろう」と強調。9月の党総裁選に向け、二階派が支持する首相の連続3選を念頭に「総裁選にも自民党全体にもプラスになる」とも述べた。

しかし、手放して喜べる状況ではない。野党6党派が推薦した池田千賀子氏の花角氏に対する得票率は93%（約3万7千票差）で、盤石の勝利ではなかった。竹下亘総務会長は11日の講演で「安倍政権の追い風にはならない」と断じた。

自民党新潟県連は「県民党」を掲げて花角氏の政党色を薄め、国会議員による応援演説を極力断る戦術をとった。新潟入りした竹下氏が花角氏の選対事務所への来訪を断られたこともあったという。ところが野党側の派手な街頭演説で花角氏の埋没感が強まると、選挙戦中盤に丸川珠代前五輪相らが街頭に立ち、ちぐはぐな場面も目立った。

選挙戦では、池田氏側が「モリ・カケ」問題などで国政

批判を徹底した。自民党幹部は「一連の問題に対する野党の追及に世論がうんざりしている実態が浮き彫りになった」と語る。それでも共闘した野党6党派は今回の連携を次期参院選への弾みにしたい考えだ。

ただ、思惑のずれもある。共産党の志位和夫委員長は11日の第4回中央委員会総会（4中総）で、知事選の結果を踏まえ「参院選で市民と野党の共闘を『本気の共闘』として必ず成功させる」と訴えた。

「本気」とは、政党間の公式協議を経ない候補者一本化を正式な「相互推薦」へと深化させることを指す。しかし、野党第一党の立憲民主党幹部は「候補者は住み分けるが、推薦はしない」と話し、思いはすれ違いのままだ。

今回共闘した国民民主党は、憲法9条改正に反対する市民グループの集會に6党派で唯一参加を見送り、独自色の発揮を図る。玉木雄一郎共同代表は11日の記者会見で「候補者調整は勝利のために必要だ」と強調したが、志位氏は記者会見で「安全保障法制廃止という点で一致が得られるかの見極めが必要だ」と語り、距離感をにじませた。

産経新聞 2018.6.11 22:08 更新

【新潟県知事選】「安倍政権批判示された」「今後につながる財産」…野党、負け惜しみ？連発



10日夜、新潟知事選で落選が決ま

り、支持者らに一礼する池田千賀子氏＝新潟市内のホテル
新潟県知事選で敗れた池田千賀子氏を推薦した野党6党派の幹部からは野党共闘の「成功」をアピールする発言が相次いだ。

立憲民主党の近藤昭一選対委員長は10日の談話で「森友、加計学園問題にみられる公文書改竄（かいざん）や虚偽答弁など、国民の不信感を増幅させた安倍晋三政権への批判の声は今回の投票でも示された」と強調した。

国民民主党の玉木雄一郎共同代表は11日の記者会見で「野党が結束すれば与党と互角に戦えることを示した」と分析し、共産党の志位和夫委員長は「50万を超える票を得て大健闘の結果となった」と総括した。

衆院会派「無所属の会」の岡田克也代表は「野党が結束して戦うことで政権与党への大きな対抗力となり得ることを改めて示した」との談話を出し、自由党の小沢一郎代表

は「脱原発を含めた（池田氏の）主張は全く正しい」とした。

産経新聞 2018.6.11 22:29 更新

【新潟県知事選】東電HD、柏崎刈羽原発の再稼働時期見通せず 収益改善に遅れの懸念



東京電力柏崎刈羽原発

6号機（右）と7号機

10日投開票の新潟県知事選で初当選した花角英世氏は、東京電力柏崎刈羽原発の再稼働に慎重姿勢だった米山隆一前知事が進めた県独自の原発の安全性検証を継承する方針だ。柏崎刈羽原発でも出力の大きな6、7号機は昨年12月に安全審査に合格したが、再稼働で必要となる地元自治体の同意の行方は見通せない。再稼働の時期が後にずれ込めば、東京電力ホールディングス（HD）の収益力改善にも逆風となりかねない。

東電HDは、平成23年の福島第1原発事故に関連して必要と試算された約22兆円のうち、約16兆円を自社で賄わなければならない。巨額費用を捻出するには収益改善が急務だが、その柱の一つと位置づけるのが柏崎刈羽原発の再稼働だ。

柏崎刈羽原発には1～7号機があり、改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）の6、7号機（出力は各135・6万千瓦ワット）は昨年12月に再稼働の前提となる原子力規制委員会の安全審査に合格。6、7号機が再稼働した場合、合計で年間約1千億～2200億円のコスト削減が見込めるという。燃料コストが相対的に高くつく火力発電の稼働を抑制できるためだ。

安全審査に合格したとはいえ、再稼働では地元同意を得なければならない。

花角氏は11日に新潟市内で記者団に対し、原発の安全性検証について「どこかで取りまとめる。2年なのか3年なのか確認したい」と述べた。その上で、検証結果が出た後も「県民に納得をいただけるか意思を確認したい」として、出直し知事選を検討する可能性を改めて示唆した。額面通りに受け取れば、再稼働の時期が見通しづらい状況はこの先も続くと思われる。

花角氏の初当選を受け、世耕弘成経済産業相は11日に省内で記者団に「まずは新知事の考えをよくうかがいたい。原子力政策は安全最優先で進めながら、新潟県民の理解もいただけるよう国としても努力をしていきたい」と語った。経団連の中西宏明会長（日立製作所会長）も記者会見で「安

全は確認された原発なので早めに稼働させてもらいたい」と期待感を示した。

東電HDは「引き続き柏崎刈羽原発の安全対策などに取り組み、新知事を始め県民の皆様に丁寧に説明するとともに、新潟県が進める検証にしっかり協力していく」と話した。(森田晶宏)

新潟知事に与党系花角氏 野党共闘候補を破る

東京新聞 2018年6月11日 夕刊

新潟県の米山隆一前知事の辞職に伴う県知事選は十日投開票され、無所属新人の前海上保安庁次長花角英世(はなずみひでよ)氏(60)＝自民、公明支持＝が、元県議池田千賀子氏(57)＝立民、国民、共産、自由、社民推薦＝ら無所属二新人を破り、初当選した。森友、加計(かけ)学園問題など相次ぐ安倍政権の不祥事に関する影響をかわし野党共闘に勝利した。

与野党ともに知事選を来夏の参院選の前哨戦と位置付けていただけに、安倍晋三首相は知事選の結果を追い風に終盤国会を含む政権運営に全力を挙げる構え。九月の自民党総裁選三選や来年の統一地方選に向けても弾みとなりそうだ。野党は共闘を成果につなげられず、参院選に向けた選挙協力に影を落とす結果となった。

花角氏は池田氏に約三万七千票差をつけて激戦を制した。投票率は58・25%で、前回知事選を5・20ポイント上回った。東京電力柏崎刈羽原発の再稼働を巡る対応も争点だったが、花角、池田両氏とも前知事が進めた安全性の検証を継続するとして再稼働に慎重な姿勢を示し、立場の違いは明確にならなかった。

花角氏は新潟市で報道陣に原発再稼働の是非について「県独自の検証をしっかりやった上でリーダーとして判断したい」と述べた。一夜明けた十一日、安全性検証に要する期間について今後二～三年間との認識を示した。

菅義偉(すがよしひで)官房長官は十一日の記者会見で、再稼働に関し花角氏の意向を踏まえ、県民理解を重視する考えを示した。

森友学園を巡る財務省の文書改ざん問題が三月に発覚して以降、与野党による事実上の一騎打ちの構図となった初の大型選挙。

花角氏は国土交通省の幹部職員を務め、新潟県副知事も歴任した行政手腕を強調。特定の政治勢力によらない「県民党」を掲げ、幅広い支持を取り込んだ。与党は企業や支援団体を中心に組織票固めを徹底した。

◇新潟知事選確定得票

当 546, 670 花角英世 無新 =自公

509, 568 池田千賀子 無新 =立国共由社

45, 628 安中聡 無新

◇

花角英世(はなずみひでよ) 60 <1>

(元)海上保安庁次長・副知事・国土交通省課長▽東大

働き方改革関連法案 高プロ削除求め集会 過労死遺族「長時間労働助長」

毎日新聞 2018年6月12日 東京朝刊

働き方改革関連法案の国会審議が大詰めを迎える中、高収入の一部専門職を労働時間規制から外す「高度プロフェッショナル制度」(高プロ)の導入は認められないとして、法案から削除するよう求める緊急集会が11日、参院議員会館で開かれた。野党議員や過労死遺族らが参加した。

立憲民主、国民民主、共産、社民の野党議員が国会審議の経緯を説明。「全国過労死を考える家族の会」の寺西笑子代表世話人は「高プロは長時間労働を助長する。こんなものを通す前に安心して働ける制度を先に作るべきだ」と訴えた。

労働問題に詳しい法政大の上西充子教授は「企業は高プロをやりたいがる。導入されれば、対象業務を広げてくれ、年収要件を下げてください、ということになってくる。そうやって初めて『なんでこんないいかげんなプロセスで法案を通したのか』となる」と述べた。

日本労働弁護団幹事長の藁(なつめ)一郎弁護士は、変形労働制やフレックスタイム制など法定労働時間規制(1日8時間、1週40時間)を受けずに働く労働者が既に6割に上ると指摘。「これ以上、柔軟な働き方を増やしてどうするのか。高プロを通す必要性はどこにもない」と強調した。【市川明代】

与野党6党が公選法改正案＝参院政見放送、持ち込み可に

自民、公明、立憲民主、国民民主各党など野党6党は11日、参院選の政見放送で選挙区候補者が独自に録画したものを持ち込むことを認める公職選挙法改正案を参院に共同提出した。来年の参院選に間に合うよう、今国会での成立を目指す。

野党からは日本維新の会と希望の党も共同提案に加わった。改正案では、候補者による動画持ち込みのほか、手話通訳や字幕を付けることも可能にする。政見放送の品位を保つ狙いから、対象者を政党や確認団体の公認・推薦候補に限定する。

衆院小選挙区では、政見放送の持ち込みが先行して認められている。(時事通信 2018/06/11-19:47)

東京MXテレビ 「ニュース女子」問題 「注意と配慮欠いた」と認める

毎日新聞 2018年6月12日 東京朝刊

沖縄県の米軍基地反対運動を扱った番組「ニュース女子」(昨年1月放送)について、「重大な放送倫理違反があった」との意見書を出した放送倫理・番組向上機構(BPO)の放送倫理検証委員会は11日、放送した東京メトロポリタ

ンテレビジョン（TOKYO MX）から先月提出された再発防止策を公表した。MXは同2月に自社サイトで「放送法及び放送基準に沿った制作内容」とした見解を取り消し、「注意と配慮を欠いたため批判を受けるような内容の放送をした」と認めた。

MXは検証委から問題があると指摘された番組の考査について、類似した内容を放送した際にクレームがなかったことなどから「特段指摘事項はなし」と判断したと説明。

「情報バラエティー」という番組分類を前提にしたため「考査の方法や判断が甘かった」とした。

番組は米軍基地建設への抗議活動を「過激派デモの武闘派集団」などと表現したことから批判が出ていた。【屋代尚則】